



森のこと考えてみませんか

いま地球から「森」が消えている

わたしたち日本人は、古くから毎日の暮らしを通して「木」と「森」に親しみ、癒やされてきました。

その森林が、いま世界中で急速に姿を消していることをご存じでしょうか。

現在、世界では1年間に北海道の面積の約93%に相当する730万ヘクタールの森林が消失し（2000～05年）、

そのスピードは1分間に札幌ドーム（クローズドアリーナ14,400平方メートル）約9.7個分、

1日で約13,968個分にもなるといわれています。

緑の森と「地球温暖化」

森林には大気中の二酸化炭素を吸収して蓄えるという役割があり、

1本の木がその成育中に吸収する二酸化炭素の量は1トン以上にもなります。

この性質を地球温暖化の防止に役立てるために、いま世界が動き始めています。

07年9月に採択されたシドニーAPEC（アジア太平洋経済協力会議）首脳宣言では、

20年までに域内の森林面積を少なくとも2,000万ヘクタール以上増加させるという目標を定めました。

この目標が達成されれば、世界中で1年間に排出される量の約11%（04年）に相当する二酸化炭素が森林に蓄えられることになります。

大切な森を守るためにできること

これまで、森林を守り、育てる活動を林業や製材業、製紙業を中心に行われてきましたが、

近年では、さまざまな企業や団体が、二酸化炭素を吸収する木や森を育てることで、

産業活動や日常生活から排出される二酸化炭素の量を相殺しようという「カーボン・オフセット」など、

いろいろな取り組みを行なっています。

この北の大地に生きるわたしたちに、森と地球の未来のために、いったい何ができるのかを考えてみませんか。

例えば、森林保全の活動に参加する。庭に木を1本植える。休日には森に出掛け動植物に親しむ。

1人当たりの森林面積が約1ヘクタールと恵まれた環境の北海道だからできる「何か」がきっと見つかるはずです。

人は森によってはぐくまれてきました。今こそ、その森に恩返しをする時です。

そしてそれは、わたしたち自身を守ることにもつながります。

